






年間テーマ	砂の探究
探求テーマ	砂遊び

子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 黒い砂（湿っている砂）の方が型抜きがうまくできるということに遊びを通して気付いている。 ・ 白い砂と黒い砂を使い分けて遊んでいる。 ・ 型抜きが上手になり、おみせやさんごっこやおままごとがより充実している。
「問い」を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・ 黒い砂、白い砂の違いは何なのかということ考えてみるができるように問いかける。
活動をデザインする	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ砂場の砂でも、そのなかにある違いに気が付くことができるようにする。
環境をデザインする	<ul style="list-style-type: none"> ・ バケツ、ふるい、シャベルの3種類を用意し、砂の違いを比べることができるようにする。
小グループを構成する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自由に砂場を行き来できる環境にし、友達の姿に興味を持って探求を深めていけるようにする。
振り返り	<p>日々の遊びの中で砂場を掘ると砂の色が変わることや、その砂の方が固まりやすいことをよくわかっていて、自然と白い砂と黒い砂を使い分けていた。色の違いだけでなく、白い砂をどこまでさらさらにできるかというところへ発展し、子どもの発想の柔軟性に感動した。遊びの中で得る経験や発見を大切に、また新たな気づきに繋げていきたいと思った。</p>

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> ・ 白い砂をすくって「さらさらだな～。これでもっとさらさらにできるかな？」と言って白い砂をふるう。 ・ ふるいの上に石が残る。「砂の中にかくれてた石発見！」バケツに石をわける。 ・ 「もっとさらさらにする！」とふるった砂をもう1度ふるう。 ・ 砂がさーっとふるいの下に落ちていく様子を見て、「穴がいっぱい！どんどん砂がなくなっちゃう！」 ・ さらに小さな石がふるいの上に少し残る。「こんなに小さい石が入ってたのかー！」と嬉しそうに保育士に見せる。 ・ 「こっちの砂はできるかな？」と黒い砂に触れる。手を押し当てると指の跡がついた。 ・ ふるいにかけてみると、白い砂のように砂が落ちていかない。 ・ 「おかしいな？〇〇ちゃんと違う。」と不思議そうにする。 ・ 園庭の砂を持ってきて「この砂は一緒？」と色を比べていた。違うことがわかると首を傾げていた。「さらさらやりたい！」と白い砂をふるいにかけて喜んでいました。 	    

--	--	--	--